

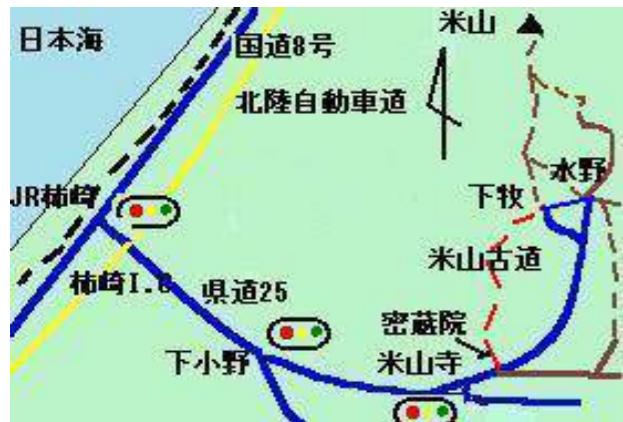
# よね やま 米山古道

## 散策ガイド



ブナが芽吹いた米山、ヒトリシズカ、カタクリ

米山と密蔵院を結ぶふれあいパークの会



密蔵院、米山古道へのアクセス

JR 柿崎駅より、7Km

北陸自動車道 柿崎 I.C. より 6.5Km

米山と密蔵院と米山古道

米山（993m）山頂には、米山薬師が祀られている。泰澄大師によって、1300年前に、開基された。以来、主に新潟県中越、下越地区の人々から強い信仰が寄せられてきた。集落単位で、米山講が結成され、毎年代表者が、護符と薬草のトウキ（米山でよく採れる、臭いの強いセリ科植物）を貢いにお参りをしてきた。密蔵院は、米山薬師の別当で、江戸時代ころから、当地で米山薬師を守り続けてきた。米山への登山道は、古くは、米山寺より、水野集落を経ての道があった。密蔵院ができたからは、その護摩堂裏から尾根ついで、下牧集落を経て登る道がメインになった。下牧集落までの尾根道を米山古道を呼んでいる。

米山古道の花ごよみ 樹木の花		名前 / 月	3	4	5	6	7	8	9	10
①マルバマンサク			●							
②ユキツバキ				●	●					
③オオカメノキ					●					
④イソヨウハサカ					●					
⑤タムシバ					●					
⑥オオバクロモジ				●						
⑦アカシデ					●	●				
⑧ウワミズザクラ					●					
⑨イケダニツリハツツジ					●					
⑩タニウツギ					●					
⑪レンケツツジ					●					
⑫ヤマツツジ					●					
⑬ナツツバキ						●				
⑭ナツハゼ						●				
⑮マタタビ						●				
⑯ヤマボウシ						●				
⑰ムラサキシキブ						●				
⑱リョウブ						●				
⑲クサギ						●				
⑳ホツツジ						●				
※●印の色は花の色を表す。番号は場所、写真（裏）を示す。										

## 春 芽吹き

雪が残る3月からマルバマンサクが咲き始める。雪消えと同時に、オーレン、カタクリが花開き、ギフチョウが舞う。フキノトウ、ゼンマイ、ワラビ、タラノメ、コシアブラ、コゴミ・・・、山菜が一斉に現れる。古道に眠っていた命がふきかえる。



ギフチョウ

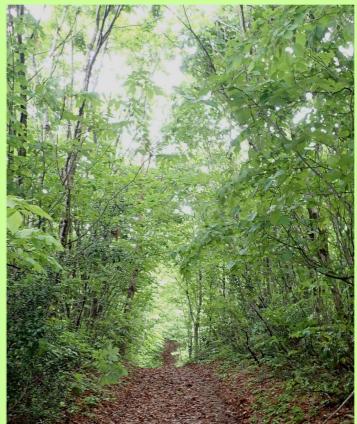


コシノカンアオイ 卵と幼虫

スプリング・エフェメラル（春のはかない命）  
越冬したギフチョウは、カタクリ、スミレなどの蜜を吸いながら、幼虫の食物となるコシノカンアオイの葉の裏に産卵する。産卵で成虫の命は終わる。カタクリは、雪消え直後に、葉を広げ、花を咲かせ、実を付け、5月の終わりには、地上部は枯れ、翌春まで休眠する。ギフチョウとカタクリ、春の一時期にしか、見ることができない、春のはかない命。

## 夏 新緑

コナラ、ホオノキ、ナツツバキなどの高木が、若葉を繁らせる。古道は、新緑の木々のトンネルとなる。



新緑のトンネル

植物の階層構造

10mを越す、大きな樹木が若葉を茂らせる。樹冠の下は暗くなる。照度計で計ると、樹冠と林床では、光の強さは、100:1となる。強い光のもとで速く高く生長する陽生植物のコナラ、アカマツ。その下で、弱い光のもとでも生き抜く陰生植物のユキツバキ、エゾユズリハ。高木と低木で階層構造を作り、植物は光を無駄なく利用している。

## 秋 実り

コナラがドングリを落とす。ナツハゼが酸っぱい黒い実を付ける。アズキナシ、ミヤマガマズミの赤い実がゆれる。日当たりのよい所にはアケビが美味しい実を付ける。やがて、ナツツバキがオレンジ色に紅葉し、コナラも負けじと黄色に変わる。植物は、1年の成果を残し、冬への準備を始める



ナツツバキ紅葉  
枯れ木に出たナメコ

## 冬 雪の中で

12月になると、落葉樹は、葉を落とし、古道を歩いていても、林の中を遠くまで見通すことができる。葉を落とした枝を見ると、春を待つ芽がついている。固そうな茶色の鱗のような葉（芽鱗）で覆われた冬芽（鱗芽）。芽鱗は無く、細かな毛が生えた小さな葉がついている冬芽（裸芽）。植物の種類ごとに色々な寒さ対策をしている。また、葉が落ちた痕（葉痕）も面白い。葉に通じていた道管、師管の痕が、目や口のように見え、サルの顔のよう。



裸芽：オオカメノキ 芽鱗：コナラ 葉痕：ヤマウルシ



## 米山古道の花ごよみ 草本の花

名前 / 月	3	4	5	6	7	8	9	10
①オウレン								
②カタクリ								
③キクザキイチゲ			●	●				
④ヨウゾウイチゲ								
⑤シュンラン								
⑥チゴユリ								
⑦コシノコバイモ								
⑧オオイワカガミ								
⑨トキイリソウ								
⑩ヒトリシズカ								
⑪サイハイラン								
⑫オカトラノオ								
⑬ヤマユリ								
⑭オトコエシ								
⑮ツリフネソウ								
⑯キシリフネ								
⑰ツルリンドウ								
⑱クルマバハグマ								
⑲キッコウハグマ								
⑳センブリ								
※●印の色は花の色を表す。番号は場所、写真（裏）を示す。								

このパンフレットは、上越市地域支援事業の援助で作られました。

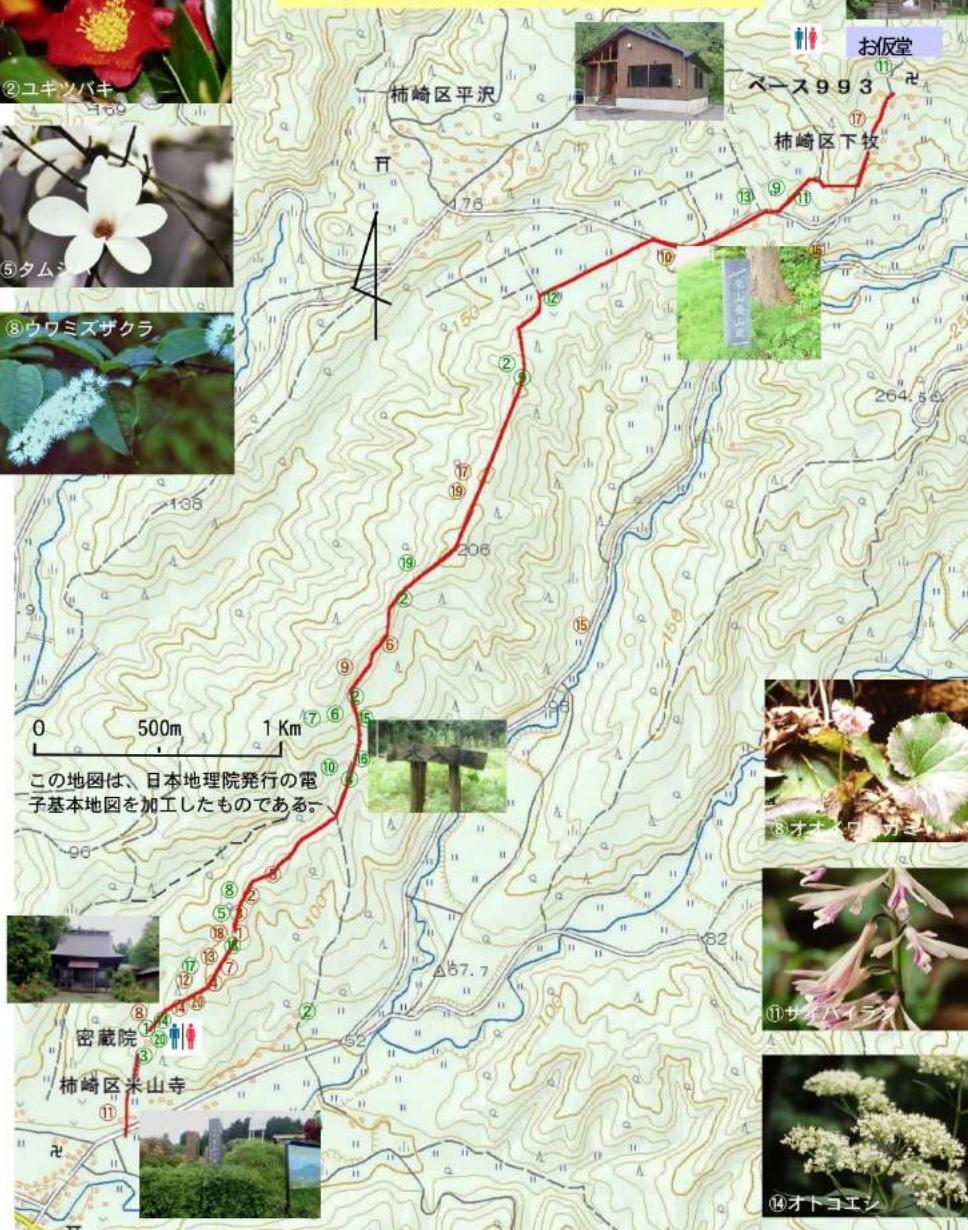
## 米山古道

### 樹木の花



### 米山古道の花ガイド

①～⑩は樹木の花、⑪～⑯は草本の花



## 米山古道

### 草本の花



⑪ ムラサキシキブ

⑫ リョウブ

⑬ クサギ

⑭ ホツツジ

⑮ ツルリンドウ

⑯ クルマバハグマ